

## 大豆多収品種の狭条栽培における収量性

「こがねさやか」は、立毛本数15~20本/m<sup>2</sup>で安定多収が得られる。20本/m<sup>2</sup>を超えると倒伏程度が高まり、コンバイン収穫損失が増加する。「たつまる」は、40本/m<sup>2</sup>の高密度な立毛本数でも倒伏しにくく、コンバイン収穫損失の低減を図りながら子実重400g/m<sup>2</sup>の高収量が期待できる。

### 内容

醤油醸造加工用として西播磨地域に普及が進む多収性大豆品種「こがねさやか」「たつまる」の晩播・狭条密播栽培への適応性を、播種時期（7/7、7/19、7/28）、栽植密度（条間30cm×株間10、20、30cmの1粒及び2粒播種、11~67粒/m<sup>2</sup>相当）について検討した。

その結果、「こがねさやか」は、7/7・10cm・1粒播区の立毛本数34本/m<sup>2</sup>で422g/m<sup>2</sup>の最高収量を示した。ただし、倒伏程度は2.8で、コンバイン収穫損失が懸念される草姿となった。一方、「たつまる」は、7/7・30cm・2粒播の立毛本数27本/m<sup>2</sup>で394g/m<sup>2</sup>の最高収量を示し、倒伏程度が1.0、最下着莢位置が17.4cmと、コンバイン収穫には非常に有利な草姿であった。収量性について、両品種とも7月上旬播種で高位に安定する傾向を示し

た（表）。以上より、「こがねさやか」は、立毛本数60本/m<sup>2</sup>でも多収を示すが倒伏が甚だしい。実用面を考慮した安定多収の目安は、立毛本数15~20本/m<sup>2</sup>、総着莢数800莢/m<sup>2</sup>程度である。一方、「たつまる」は立毛本数75本/m<sup>2</sup>でも倒伏程度が2.5と、耐倒伏性に極めて優れた品種であることから、立毛本数40本/m<sup>2</sup>、総着莢数1200莢/m<sup>2</sup>を目安に生育量を確保することで安定多収が得られる。

### 今後の方針

加工適性の高い「たつまる」について、7月上旬播種で立毛本数40本/m<sup>2</sup>を確保して、地域の平均反収250kg/10a以上をめざす。

牛尾 昭浩（農産園芸部）

（問い合わせ先 電話：0790-47-2410）

表 播種時期、播種密度の違いが生育、収量に及ぼす影響

播種日	株間 cm	播種粒数 粒/株	こがねさやか				たつまる			
			立毛本数 本/m <sup>2</sup>	総着莢数 莢/m <sup>2</sup>	倒伏程度	精子実重 g/m <sup>2</sup>	立毛本数 本/m <sup>2</sup>	総着莢数 莢/m <sup>2</sup>	倒伏程度	精子実重 g/m <sup>2</sup>
7/7	10	1	34	985	2.8	422	37	998	1.3	369
		2	60	1,148	4.0	411	75	1,696	2.5	353
	20	1	17	836	2.3	305	18	851	1.3	338
		2	33	911	3.8	316	36	986	1.8	330
	30	1	10	777	1.3	354	12	963	0.8	312
		2	25	985	2.8	396	27	1,199	1.0	394
7/19	10	1	27	1,217	2.8	408	26	1,123	1.8	326
		2	46	1,095	3.5	336	53	1,789	2.5	326
	20	1	13	781	2.0	275	19	995	1.5	303
		2	22	701	3.3	280	30	1,304	1.8	329
	30	1	9	607	2.0	321	12	920	1.5	301
		2	18	660	2.8	343	23	1,152	1.5	331
7/28	10	1	16	664	3.8	297	24	1,100	1.8	294
		2	27	635	4.0	299	30	1,029	2.3	274
	30	1	9	574	3.0	193	10	756	1.5	315
		2	13	686	2.8	265	16	888	1.5	319



写真 「40粒/m<sup>2</sup>密播」用施肥播種機（目皿式なので1株2粒播種が可能）